

【日時】2024年2月26日（火）15:00～16:00

【場所】坂町ミモザの家 新宿区四谷坂町6-5

【参加者】四谷高齢者総合相談センター 大門様、日本社会事業大学 白石様、茨城県立保健大学 小田様、坂町ミモザの家 吉住

【議題】

1. 吉住より運営状況のご報告

- 2月現在のご利用者 16名（うち、短期利用者2名）
- お泊り9名、通い14名、訪問介護11名、訪問看護14名（医療保険による訪問看護1名）
- 新規の問い合わせがあってもエリア外のことが多い。新宿区に看多機は2か所あるが、西新宿方面はどちらのエリアからも外れておりカバーしきれない。  
大門様）ミモザのエリアは？  
吉住）明治通りを越えない、区を越えない、新宿の東側です。

2. 感染症について

- インフルエンザの流行が続いており、新型コロナウイルスの流行も継続していますが、いずれも学童期から活動的な若い方に多く、無症状の方も多印象。マスクをしない方が増え、日常生活が戻ってきています。
- 坂町ミモザの家では、これまでと変わらない感染症対策を続けていきます。

3. イベントについて

- ボランティアさんが来てくださっています。  
火曜日午後（利用者の見守り、お話し相手、レクリエーション等）  
金曜日午後2時間程（洗い物、お話し相手）  
土曜日（利用者の見守り、お話し相手、ゴミ箱作り、新聞折り等）

4. 坂町ミモザの家へのご要望やご意見をいただきます。

- 大門様）柏木高相から四谷に移動してきた。名前は聞いていたが、今回実際に来ることができて、利用者へ提案する一つとして活用したい。要支援の利用者からの相談が多いが、選択肢が広がるのでありがたい。
- 白石様）2016年以来、久々に来たが、温かい雰囲気があるままで、咲いているミモザも見ることができて嬉しい。地域の活動にはどのようなものがあるか。  
吉住）去年は、たねダンゴ作り、防災講習、クリスマス会で地域の方にお声をかけた。  
白石様）こちらでお看取りまでされるケースはどれぐらいか。  
吉住）ほぼご自宅、またはミモザでのお看取りです。普段から最期の時についてご家族やご本人と話しており、始めは自信がないとおっしゃるご家族も、私たちとの関りの中で自然にご自宅でのお看取りに向かわれるケースもある。
- 小田様）西東京のデイサービスでアルバイトをしているが、もっと殺伐としている。ここはゆったりしているのが良いと思う。